温室効果ガス排出削減計画

」 (注)	にちつ	てル	ト夕 缶)				12-	(注.)	にちつ	アルナ	ケス重	業能の可	F/T:+	h)
					住	E (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 702-8045								
名 DOWAエレクトロニクス岡山(株)				所	· □ □ □ 市南区海岸通1丁目3番1号									
本票作成	部署名	<u> </u>	保全部	R 保全部		<u> </u>								
主たる業	分 分	類				デバイフ・	重	之 同蛟	な制造者	<u>*</u>				
土につ未	7里 コー	ード	20	未俚石.	11 中四	7747	电	1 四阵	が足え					
事業の 概 要 磁性粉の製造														
Ш	番号	番号 工場等の名称						所 在 地						
	1	DOW	DOWAエレクトロニクス岡山傑					岡山市南区海岸通1丁目3番1号						
			S S COLON S CO					12年111112年147年11日6月17						
県内の主 な														
工場等														
化与中型	<u></u>	① 惨	火料、笶匠		500kℓ以上 □	1 (2) 1 7 . 17	w力	100台	カカシーつ	50台以	F 🖂	③CO。 拗 1	当?(-1.11+0.0r
特定事業 の該当要	1.1		湯等(1)該当の			₽Ð, €	台)
	11 (. 物 守 0	/J <i>安</i> X	1	ולז	_	中門 口	奴 (区	ルタコッ	勿口)		口)
計画期間	間		令和	元	年度	~		令和	5	年月	Ŧ	(5	í	箇年度)
和/呼 口 +	≖ \/ \ر	ずれ	カュ 🗵	総排出量	基準	目標肖	 //減	率	目標	20%以上	20~15%	% 15~10%]	10~5	% 5%未満
削減目標	^宗 をi	選択		原単位基	準	0. 1		%	区分					0
温室効果な	j ス	基	 基準年	度(平成	30 年度)			目標年	度(令	和	5 年度	E)	
排出量					124, 156	6 t CO ₂						124, 06	52 t	CO2
	番	番号 工場等の名称					基準年度(平成 30 年度)の排出量							
		1	DOWAエレクトロニクス岡山(株)				124, 156 t CO ₂							
基準年度													t	CO ₂
金単年度主な工場													t	: CO ₂
の排出量														: CO ₂
														: CO ₂
	-													CO ₂
L ※ 「計	<u> </u>		聞にけ	5 笛年	度以内で特別	 定事業者が	定	カろ期	間を訴	入する				
	温温				密接な関係をも	,,,,,	, - (> 0 /yl	141 G HE		_	排出量		
(原単位基 の削減目標	準					基準年度 目標年度				F Z				
選択した場														
に記入)								CC	$O_2 / ($)	CO ₂ /	()
(該当事業	者のみ	記入))		_									
ベンチマー	-ク	対象	身事業	の名称	ベン	チマーク指	標		関連数	女値 (平	成 3	60 年度)	達成率(%)
指標の状	況													
				的な考え										
省エネ対	策によ	る	温室効	果ガスの	削減推進	でか 1 マナ	z>	7						
※廃棄物	田来の)CO2	につい	へては、糸	総排出量から	が外してき	ラえ	. つ。						

上述の記載は、124,156 ⇒ 124,062 (▲94) としているが、廃棄物由来のC02を除き、エネルギー使用によるC02排出量 平成30年度 3,783t-C02 ⇒ 3,689 (▲94 t : 2.5%削減)を目標値として考える。

【目標削減率達成のための推進体制】

- 1) 省エネルギー推進活動の継続
 - ・個人単位での省エネ活動提案(改善提案提出)
 - ・事業所の節電活動の推進 (エアコン温度の調整依頼など)
- 2) 設備改善
- 3) 毎月の製品ごとのエネルギー原単位を決算報告会にて報告
- 4) 電気/都市ガスの使用量の見える化(前年度との対比グラフ作成および掲示)
- 5) 事業所全体での生産計画の見える化による電力調整
- 6) 事業所全体での省エネ活動をプロジェクト化し、各社代表による省エネを推進
 - ・3か月ごとの委員会開催
 - ・省エネセンターによる無料診断/外部コンサルによる指導会の開催

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称 取組内に	容
DOWAエレクトロニクス岡山(株) (30年度実施分) 1) 小型ボイラーの燃料転換 ⇒ ▲26 2) 未利用熱回収による発電量増 = 3) 照明のLED化 ⇒ ▲20t-C02	

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

【計画期间中に日標削减率を達	『似りつんめに夫旭りつ指直』
工場等の名称	措置内容
DOWAエレクトロニクス 岡 山(株)	(今後実施予定分) 1) 海水ポンプ更新 → ▲555 t -C02 2) 未利用熱回収による発電量増 → ▲39t-C02 3) 冷却水ポンプ適正化 → ▲74t-C02
	l l

【本林保仝等吸収酒対第への問	
	7 XH ⇒+ [#] [

		* V · IV · V · V · V · V · V · V · V · V
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】